



千葉商科大学

NEWS LETTER

-Vol.31- 2010年2月号

「千葉商科大学ニューズレター」は、教育・研究、地域連携、国際交流などさまざまな側面で行われている千葉商科大学の活動、「実学教育」のさらなる充実をめざした戦略的な取り組みなどの最新情報を、日ごろご支援いただいている皆様にお伝えしています。

ニューズレターの全文や記事の詳細は、本学 Web サイトに掲載されています。

<http://www.cuc.ac.jp/>

◆ご意見、ご要望をお寄せください◆

発行者
千葉商科大学
学長事務室
(戦略広報係)

TEL
047-372-4111(代)
FAX
047-373-9969
E-mail
p-office@cuc.ac.jp



2008.4～2015.3

本学は、(財)日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価で認定されました

千葉商科大学学長 島田晴雄からみなさまへ



学長 島田晴雄

如月、寒い中にも春の気配を感じるこの頃ですが、皆様、ご活躍のことと思います。千葉商科大学も教職員が打って一丸となって、より良い教育を学生諸君に提供すべく頑張っています。昨年11月に、大学の教学部門の大きな組織改革を行ったことをこのコラムでご報告いたしました。このたび新学期をめざして、それぞれの部門の責任者を決めましたので、ご紹介したいと思います。

商経学部の学部長は鈴木春二教授。政策情報学部の学部長は宮崎緑教授。宮崎教授は政策情報学部創設時からかわり、メディア情報分野で著名な専門家ですが、本学の歴史上初めての女性学部長です。サービス創造学部長は、引き続き吉田優治教授。新設された教育革新センター長は、若手のリーダーである朝比奈剛准教授。学生部長は、中澤興起教授。図書館長は、小玉敏彦教授。経済研究所長は、栗林隆教授。入学センターは、経験豊富な内田茂男教授がセンター長。キャリア支援センターは、職員の中川誠課長がセンター長に就任し、戦略広報センターは、私、島田晴雄がセンター長を兼任。情報基盤センター長は、大学業務に明るく情報技術の専門家である柏木将宏准教授。地域連携・ネットワークセンターは、地域交流・同窓会・学生の保護者など多面的なネットワークを維持発展させる役割で、センター長は経験豊富な瀧上信光教授。新設される国際センター長は、英語教育の専門家でかつ外交官夫人として世界に明るく、また多くの国際プロジェクトを推進してこられた高橋百合子教授が決まりました。

新しい組織では、従来よりもいちだんとセンター長の裁量の余地が広く、皆で力を合わせて千葉商科大学を大きく跳躍させようと意気込んでおります。どうぞ皆様よろしくご指導のほどお願いいたします。

新 高3生の 新高校2年生・保護者の方も大歓迎

オープンキャンパス

3/28 (sun) 13:00 ~ 16:00

※事前申込み不要! 詳しくは WEB サイトをチェック!!

【プログラム】
 ・島田学長からのメッセージ ・学部、学科説明 ・キャンパスツアー
 ・平成23年度入試概要 ・体験授業 ・学生座談会 ・個別相談 など

受付は12:30からだよ!
友達誘って参加してね!

個人92名・団体15組、活躍する学生を盛大に表彰!!

1月20日(水)、今年度最後のユニバーシティ・アワー「学生表彰」が行われ、学内外のさまざまな分野で活躍した個人92名・団体15組の学生たちが、島田学長より表彰されました。多くの仲間や教職員が集う会場で盛大に行われる本学の学生表彰は、島田学長の「表彰は、大勢の前で褒められてこそ意義がある」との考えから2008年度より始まり、勉学、国際、地域、環境、文化、ボランティア、スポーツ、起業などで活躍す



多くの学生たちが、その功績を讃えられています。表彰の最後には、学生自治会執行委員会で顕著な活躍をした商経学部経営学科4年伊藤梨沙さん(東金商業高校出身)が、受賞者を代表してスピーチを行い、「千葉商科大学にはサークルや部活動、ボランティアなど、たくさんの活動がある。ここに参加することにより必ず自分にプラスになることが得られるので是非参加してほしい。自分も挑戦という言葉をおぼれずいろいろなことに臨んでいきたいと思う。」と、自身の学生生活を振り返り、後輩へ向けた力強いメッセージで締めくくりました。表彰の様子はVOD配信も行いますので、どうぞご覧ください。

平成22年度公立学校教員採用試験に9名が合格しました

少子化に伴う学校再編、60歳退職教員の年金受給年齢の繰上げなどで、ここ数年全国の都道府県における高校新規教員の採用数は激減しています。文部科学省の調査によれば、平成22年度の高校教員採用試験の倍率は全教科を合わせて9.4倍となっていますが、商業に関しては、この倍率ではおさまらず、数十倍と推測されます。このような厳しい採用条件の中で本学の卒業生は健闘し、22年度の教員採用試験には、次の皆さんが合格しました。

田中 善洋さん(2003年3月商学科卒：千葉県合格)
小中 喜貴さん(2003年3月商学科卒：青森県合格)
小林 悠樹さん(2005年3月商学科卒：岩手県合格)
土田 伸也さん(2005年3月経営学科卒：秋田県合格)

石川 智裕さん(2007年3月経済学科卒：福島県合格)
高橋 沙綾香さん(2008年3月商学科卒：千葉県合格)
畠田 恵介さん(2008年3月経済学科卒：福島県合格)

このうち、青森県、秋田県、岩手県は商業教員の採用数が1名で、そのすべてを本学が独占しました。

また、小学校教員を志し、本学卒業後に小学校教員免許を取得した卒業生2名も合格しています。

女性(2005年3月商経学部卒：千葉県合格)
高橋由美子さん(2007年3月政策情報学部卒：東京都合格)

このほか、本学からは、次年度の常勤・非常勤講師も複数内定しています。皆さんの更なるご活躍を応援しています。

政策情報学部 創設10年目の実績

社会で活躍する卒業生たち ③

創設10年目を迎えた政策情報学部は、これまで約1,100人の卒業生を社会の各分野に送り出しています。これらの卒業生は、それぞれが得意とする分野の問題発見・解決のための必要な知識を、ひとつの学問にとどまることなく学び、情報メディアをあらゆる角度から使いこなし、大きく活躍しています。このコーナーでは、そのような政策情報学部卒業生からのレポートを順次ご紹介します。

那須 貴文さん(2006年3月政策情報学部卒)
株式会社 JCN 船橋習志野 オペレーション部 技術課

私は、現在ケーブルテレビ会社の技術系として、お客様がテレビやインターネットサービスをご利用いただくための端末機器の管理業務や顧客サポートを担当しています。ケーブルテレビは、電波が届かない地域へ映像を送信する方法として誕生しましたが、今ではテレビだけでなく、インターネット、電話と先進の技術も導入されサービスは多岐にわたっています。

私が今の会社を選んだのも地域に密着したサービスを

通して、人々のより良い生活への貢献とともに、情報通信技術を活用したより大きな事業への可能性があると感じたからです。情報通信技術を人々の生活へ反映させ、より良い社会をつくっていきたく日々仕事に取り組んでいます。

私も政策情報学部に入学する前は、環境問題と情報処理が学べればと漠然としたものでした。しかし、講義や研究会での研究活動を通じ実際に市民団体と一緒に活動をしたり、自治体や企業といった現場の方々の話を聞いたりするなかで、自分の問題意識が明確になっていきました。今の仕事と必ずしも直結することばかりで無く、日々勉強の毎日で、困難な課題にも多く直面しますが、学んだことや経験の一つひとつが土台として生きています。

政策情報学部では、情報通信技術を社会における諸問題の解決や人々のより良い生活をつくる手段の一つとして、どのように知識や技術を習得して活用するのかといった情報リテラシー(情報活用能力)が養えたのだと感じています。

お知らせ

- 入試情報 【商経学部】後期一般入試<1期>3/1(月)<2期>3/13(土) ※商経学部はセンター試験利用入試も実施。
【政策情報学部】AO入試・5期 3/1(月) ※政策情報学部はセンター試験利用入試も実施。
一般入試A方式<2期>3/1(月)<3期>3/15(月)
- 【サービス創造学部】AO入学審査・7期 3/4(木)

◎お問い合わせ先 入試広報課 E-mail: info@cuc.ac.jp TEL: 047-372-4111(代)

- キッズビジネススタウンいちかわ 3月6日(土)、7日(日) 午前10時から午後4時まで、本学キャンパスで「キッズビジネススタウンいちかわ」を開催します。小学6年生以下の児童、幼児のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。※事前予約優先。詳細はWebサイトをご覧ください。